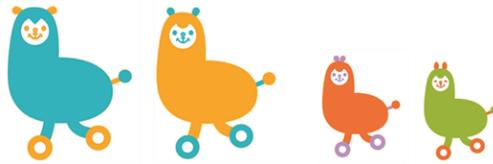


コミュニティ・カーシェアリング

～導入サポートプログラムのご紹介～

<配布用資料>

一般社団法人日本カーシェアリング協会



コミュニティ・カーシェアリング（CCS）とは



- 震災後、津波で多くの車が流された宮城県石巻市で始まった、寄付車を地域の人々で楽しみながらシェアする取り組みです。



お茶っこでルール決め



外出支援



みんなで買い物



日帰り旅行



EVで防災訓練



個人での外出にも利用



『コミュニティ・カーシェアリング（CCS）』とは

- 2018年12月時点で、石巻市内で9箇所、264名の方々（平均年齢74歳）がCCSに取り組んでいます。

吉野町カーシェア会
(45名・76歳)



新西前沼カーシェア会
(64名・73歳)



中央カーシェア会
(22名・75歳)



門脇カーシェア会
(34名・68歳)



渡波カーシェア会
(33名・76歳)



三ツ股カーシェア会
(28名・68歳)



不動町カーシェア会
(23名・76歳)



大門町カーシェア会
(6名)



新立野カーシェア会
(9名)



CCSの主な特徴



1 目的は「支え合う地域づくり」。

- 移動・交通問題を解消することを目的とするのではなく、**地域で楽しく車を活用し、支え合うことを目的**としています。
- だから、外出支援や車の個人利用だけでなく、買い物ツアーや日帰り旅行にも出かけます。**楽しくサークル活動を続けた先で、地域の支え合いの力を高め、結果的に移動・交通の問題も解消**していくことを目指しています。

2 ルールと役割を決め自分たちで運営。

- 予約や鍵の管理、買い物ツアーやお出かけの調整、経費精算の方法、お茶飲み（お茶っこ）の調整など、車を共同で使用するために**必要なルールづくりや役割分担も、自分たちで行います**。ドライバーも、地域のボランティアの方に担当していただきます。
- ただし、ゼロからルールを作るのは難しいため、**あらかじめ用意してある雛形を自分たちにあったかたちにかえていく方法**を採っています。



3 経費実費を平等に精算。

- 道路運送法に違反するいわゆる「白タク」行為にならないよう、**料金を設定せず、カーシェアリングにかかった費用実費を利用者同士で平等に負担**します。車両のレンタル費用、ガソリン代、駐車場代、役員報酬などを負担しあいます。
- 日々の運営のためと、支払いがまとめて生じると困る利用者（年金生活者等）が多いため、**ルールを決めて利用毎に積立金を集めておき、定期的（総会の時等）に精算（不足があれば追加徴収、過剰であれば返金）**を行います。
- 積立金が不足している時には、日帰り旅行を行い、参加者からいただいた旅行代の一部を積立に回すなどして、**楽しみながら費用を賄っていきます**。

CCSの提供する価値



CCSは、一人ひとりを元気にしながら、地域・社会の課題を解決し、共助の力を高める一助となります。CCSを実践することは、いざというときの備えにもつながります。

一人ひとりにとっての価値

日常生活

困りごとを解決し、日常を楽しく。

たとえば、こんな困りごとを解決します。

- 免許返納して車がない、できれば運転したくない
- 家族に頼らず、気軽にお出かけ・買い物したい
- ご近所さんと付き合いが少ない
- 楽しくお出かけする機会が作りたい

一人ひとりに役割と生きがいを提供。



男性ドライバー

たまにはいいことしてえなあと思ってな。



女性利用者

みんなで行く買物はピクニックみたいに楽しい！



いざという時

助けを求め、手を差しのべられる関係。

いざというときに助けを求めたり、手を差しのべられる、心強い仲間が身近にできる。

地域・社会にとっての価値

地域課題を解決する。

たとえば、こんな地域課題の解決に貢献します。

- 地域コミュニティの活性化
- 仮設住宅・災害公営住宅等のコミュニティ形成
- 高齢者など交通弱者の移動手段の充実
- 高齢者などの健康づくり・生きがいづくり

地域の力＝共助の力をたくわえる。

地域の支え合いによってカーシェアリングを運用し、次のような経験をするなかで、共助の力が高まります。

- 地域の仲間と役割・ルールを決めて活動する
- 買い物ツアーや旅行を企画して実行する
- 互いに声かけ・気遣いしながらカーシェアを行う



素早く復旧・復興を進めることができる。

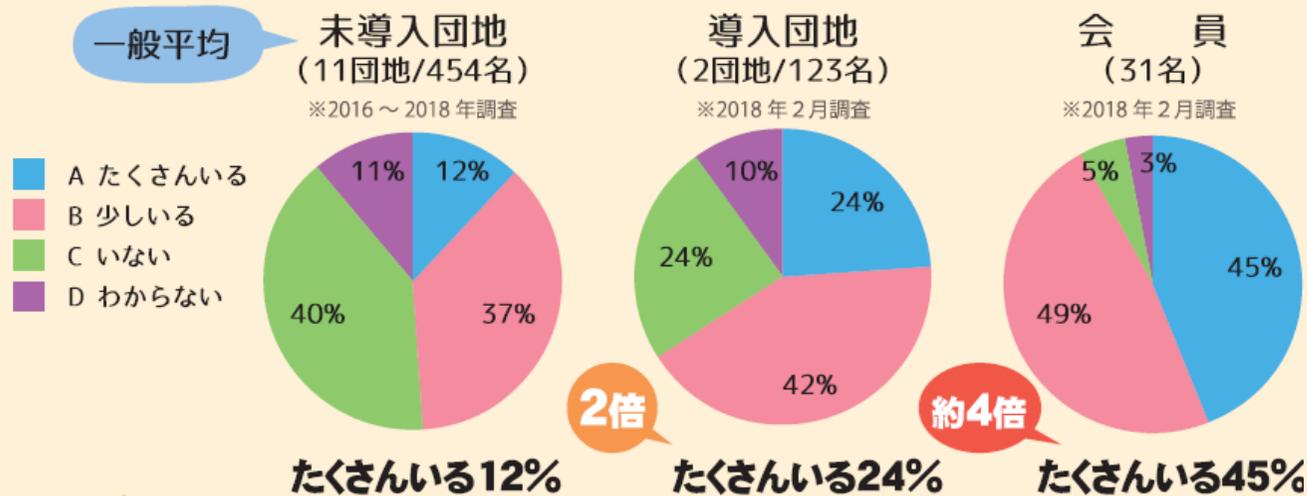
災害時にも共助の力で復旧・復興を推進できる。移動手段の復旧性（モビリティ・レジリエンス）が高まる。

CCSの提供する価値



石巻市で実施されたアンケートでは、CCSの導入による仲のいい知り合いの増加（社会関係資本の増加）や、移動の改善といった効果が確認されています。

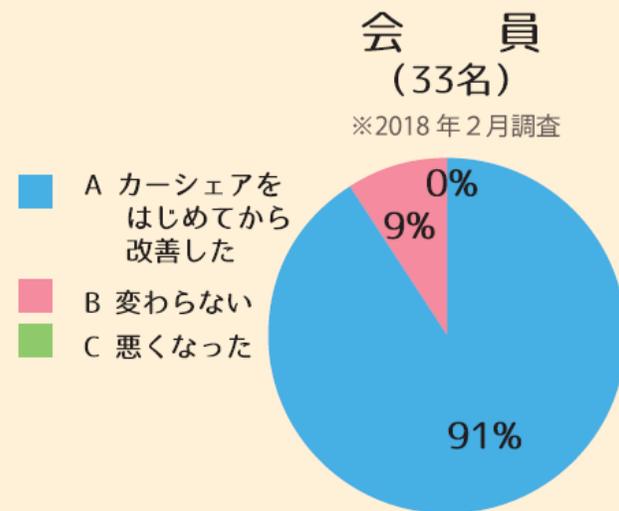
Q.団地内に仲のいい知り合いがいますか？



- CCSが導入された災害公営住宅団地では、仲のいい知り合いがたくさんいると答えた方が大幅に増加

※ 石巻市の災害公営住宅の住民に対するアンケート。
 ※ CCS未導入の団地住民、導入済みの団地住民、CCS会員からの回答結果。

Q.移動改善しましたか？



- 90%以上の方が移動が改善したと回答

※ 変わらないとしている方は、元々移動に困っていない会員が多いとみられる

CCSの他地域への展開に向けて



- 私達、日本カーシェアリング協会は、コミュニティ・カーシェアリングを、被災地に限らず、過疎化・高齢化の進む日本全国どこでも活用できる仕組みとすることを目指してきました。
- 今までは石巻市内の仮設住宅や災害公営住宅団地でのカーシェアリングが中心でしたが、今後は自治体、社会福祉協議会、NPO、町内会等と連携することで、様々な単位でのコミュニティ・カーシェアリングを全国で展開していきたいと考えています。
- 全国からの様々な支援を受けて石巻に生まれたコミュニティ・カーシェアリング。今度は石巻が全国にその仕組みを伝えながらご恩返しをする番です。
- 日本カーシェアリング協会では、助け合いの連鎖から生まれたこの仕組みがこれからも更なる助け合いの連鎖を生み出し続けていくことを願い、コミュニティ・カーシェアリング普及活動を進めています。



あなたの町でも
コミュニティ・
カーシェアリングを
始めてみませんか？

CCSの導入ステップ



CCSの基本的な導入ステップは、以下のとおりです。

事前準備・調査やテスト運行などを済ませた後、本格的な運行に移っていきます。

事前調整
・
テスト

本
運
行

1. 事前調整

テスト運行、本運行の流れを整理する
地域、関係機関の協力を取りつけ、役割を明確化する
日用車両、追加車両の配備方法（駐車場所含む）を整理する



2. 調査

ニーズ・協力意向調査を行う
ドライバー、利用者の候補となる方を把握する

3. 説明会

カーシェアリングの趣旨説明、テスト運行の実施同意取得、テスト運行ルール策定

4. テスト運行

1ヶ月程度のテスト運行、利用者の感触把握
カーシェア会設立に向けた準備



5. 会設立MTG

カーシェア会の正式発足、役員選任、本運行ルール策定

6. 本運行

車両貸し出し・保険契約、各種事務手続き
日常の予約管理・運行
日帰り旅行の企画・実施
車両の整備
広報活動



7. 会合・総会

定期会合（お茶っこMTG、月1回）
収支確認会合（3ヶ月に1回程度）
総会（年1回）



CCS実施体制イメージ



持続的にCCSを実施していくために、様々な団体・ボランティアとの連携体制を築くことを目指しましょう。
大型車両の貸与に協力いただける団体や、地域の伴走支援を行うコーディネーターの配置も重要となります。

新たにコミュニティ・カーシェアリング（CCS）を始める際の体制イメージ

 <p>JCSA 車両/保険 + 導入支援</p> 	<p>社福等</p> <p>追加車両 貸与協力</p> <p>旅行などの際の 追加車両貸与</p> 	<p>NPO/社協CSW/ まちづくり協議会 /生活支援C等</p> <p>コーディネーター コミュニティへの 伴走支援全般担当</p> 	<p>自治体</p> <p>広報・団体登録・ 資金助成等協力</p> <p>+ 地域包括ケア連携</p> 	<p>カーシェア会会員</p> <p>ドライバ 運転担当/役員 予約等担当 予約等調整/役員 一般会員 カーシェア利用</p> 
---	---	--	---	--

ボランティア・サポーター

広報・行事連携等 車両整備等協力 協賛・備品提供・割引等協力

自治会	大学	整備工場	企業	食事処	娯楽施設
					

資金助成

カーシェア会の活動助成
(民間助成・赤い羽根助成等)

民間財団・企業・社会福祉協議会等



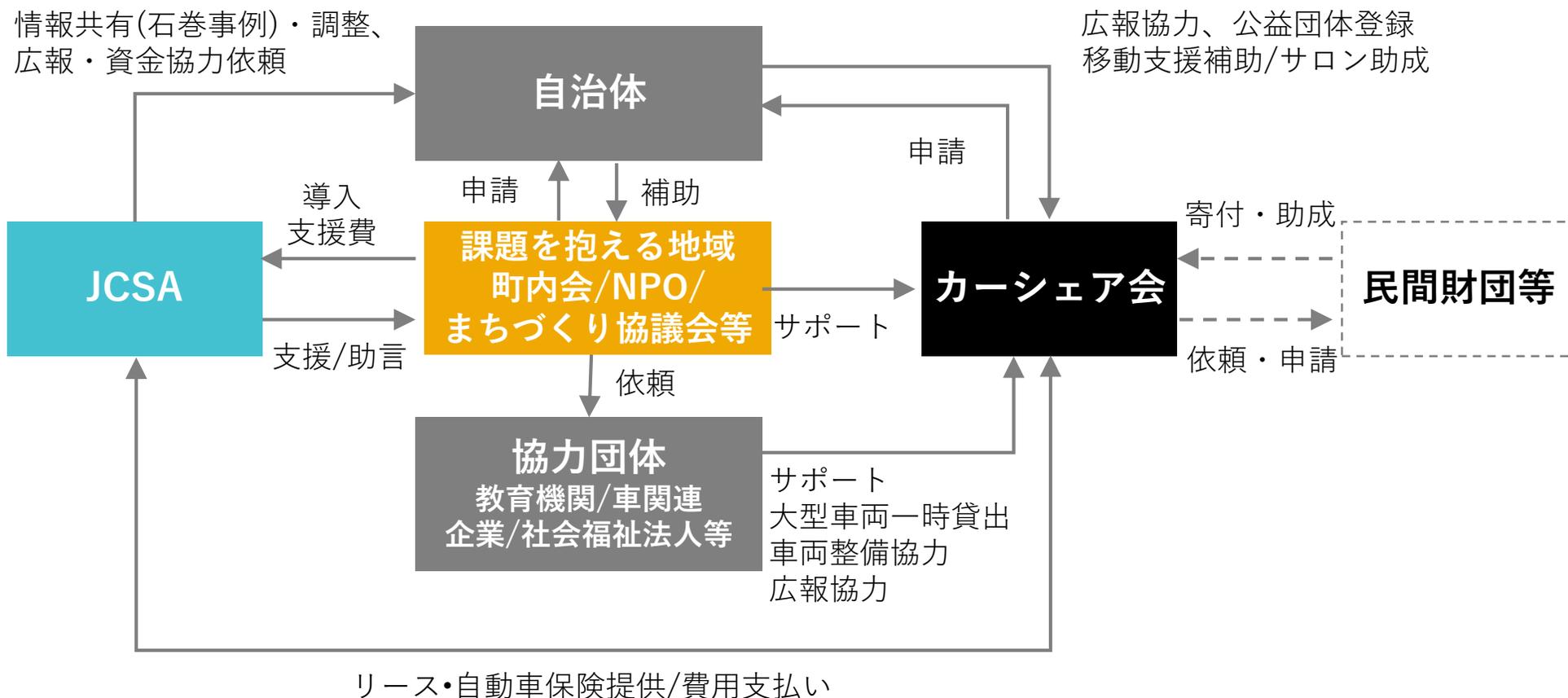
CCSの仕組みイメージ



新たにCCSを立ち上げる場合の仕組みの一例は、以下のとおりです。

立ち上げサポートを実施する際には、地域の実情に応じた仕組みを改めてご提案いたします。

新たな地域でコミュニティ・カーシェアリング（CCS）を実施する場合の大まかな仕組み（イメージ）



導入サポートプログラム一覧



コミュニティ・カーシェアリングについてまずは詳しく知りたい方へ

- 1 **活動紹介プログラム** 当協会スタッフが現地に伺い、CCSについて詳しくご説明
- 2 **現場紹介プログラム** 当協会にお越しいただき、CCSの現場視察・詳細説明を実施するプログラム

コミュニティ・カーシェアリングの立ち上げや実証のサポートをご希望の方へ

- 3 **立ち上げサポートプログラム** CCSの立ち上げに向けた事前調整・調査・テスト運行等を伴走支援

コミュニティ・カーシェアリング導入後のサポートをご希望の方へ

- 4 **サポート付カーリースプログラム** CCS用車両のリースと、問合せ対応によるサポートを提供
- 5 **現地訪問・サポート付カーリースプログラム** ④に加えて、半年間・月1回の現地訪問サポートを提供

コミュニティ・カーシェアリングの政策的な地域への普及サポートをご希望の方へ

- 6 **サポートセンター設置プログラム** CCS運営・サポートの現地拠点を設けスタッフを配置するプログラム

詳しいプログラム内容についてはお問い合わせください。

FAQ (1) そもそもCCSとは



Q

一般的なカーシェアリングとの違いは何ですか？

A

- 目的と車の使い方が違います。
- 『コミュニティ・カーシェアリング』は支え合う地域を作ることが目的として外出支援や乗り合いでのお出かけや旅行など車を柔軟に活用します。

Q

バスやタクシーと競合しませんか？

A

- 全くないとは言い切れませんが、私たちが確認する限り、それほど競合している状況ではありません。なぜなら、交通サービスとしては不完全だからです。ボランティアドライバーの都合を最優先しているため、事前に利用について予約が必要であったり、片道だけしか都合がつかない場合も多く、タクシーのように思いのままに使用できません。また、バスや自転車で移動できる方は、変わらず利用されています。コミュニティが介在しているからこそ、本当に困っている方が利用されるようになっているのです。
- 一方、利用されている方は、外出頻度が増える傾向にあります。よって、バスやタクシーの利用回数自体が減る人はとても少ない状況にあるのです。

FAQ (2) そもそもCCSとは



Q

メンバーは何人ぐらい必要ですか？

A

- 特に決まりはありませんが、石巻では大抵最初は4, 5人位から活動が始まり、それが1年位経つと20人位の活動になっています。最終的には30人位になると活動が比較的安定してくる傾向にあります。（最も多い地域で約70人の会員がいる地域もあります）

Q

町内会で運営するという事でしょうか？

A

- 町内会で運営していただいても構いませんが、そうでない場合が多いです。あくまで有志による地域のサークルとして立ち上がり、その立ち上げのサポートを町内会が行ったり、また、活動が立ち上がってからは、連携したりしながら地域を盛り上げていただいています。

FAQ (3) CCSの実施エリア



Q

どれくらいの広さの地域で実施するのが適切ですか？

A

- 石巻の場合だと大体町内会一つ位の単位で実施するケースが多いです。小さな規模で始めて運営が難しい場合は、適切なエリアまで広げていただくようにしています。

Q

山間地域や過疎地では有効ですか？

A

- 私たちが取り組んできたのは、仮設住宅や復興公営住宅の集合住宅が中心のため、山間地域や過疎地での経験はやや不足しているのですが、岡山県美作市では山間地域の人口140人の集落に導入することができました。
- 山間地域や過疎地域では移動距離や時間が長くなるのが特徴です。ドライバーの負担が大きくなりますが、協力いただける方がいれば、コミュニティがしっかりしているためお出かけの企画は盛り上がりやすいですし、積み立てのルールをしっかりと設定さえできれば、意外と運営しやすい側面もあります。
- 公共交通との連携を図ればドライバーの負担を軽減させ、公共交通の利用促進につながることもできると考えられます。

FAQ (4) 車に関して



Q

シェアする車はどうしたらいいですか？

A

- 地域で準備いただくか、必要に応じて当協会で貸し出せます。導入サポートプログラムで導入を進める場合は、活動の立ち上げ期間は無償（車両の運搬経費は別途・期間の定めあり）でご使用いただけます。サークルが立ち上がったからはソーシャル・カーリースとして車を有償で借りていただきます。（一般的なカーリースと比べて借りやすい設定になっていると思います。）

Q

旅行など大人数で移動する活動の時の車はどうすればよいですか？

A

- 車を借りて活動していただきます。地元の自動車販売店・社会福祉法人・NPO・自治体等に協力を打診してみるなどして、大型の車を確保できる地域連携体制を作ることが大事です。地元のレンタカー会社に交渉して安く車を借りる等でもよいと思います。

FAQ (5) CCSに関する懸念事項



Q

運転代行を手伝ってくれる方なんて、地域になかなかいないのではないのでしょうか？

A

- 意外といます。これまでの経験から言うと、100世帯あれば、丁寧に探すと3、4人ほどは協力してくださる方がいらっしゃいます。そういった方々に安心して活動いただける環境をしっかりと作ることが大切だと考えています。

Q

事故の時、トラブルに発展しませんか？

A

- 会員の方には、取り組みの趣旨や性質について理解していただいた上で、ご家族の同意書をいただいた上で参加いただくなど、できるだけトラブルに発展しないように努力を行っております。
- また、ボランティアドライバーの方々は、とても丁寧に運転してくださるので、これまで大きな事故は起こったことはありません。

お問い合わせ先



- コミュニティ・カーシェアリングについてもっと知りたいとお考えの方や、コミュニティ・カーシェアリングを自分の地域でも実践してみたいという希望をお持ちの方は、下記までお気軽にお問い合わせください。

一般社団法人日本カーシェアリング協会（担当 吉澤）

電話 : 0 2 2 5 - 2 2 - 1 4 5 3

F A X : 0 2 2 5 - 2 4 - 8 6 0 1

メール : info@japan-csa.org